

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山市役所等包括施設管理事業			会計	款	項目	大専	小専	
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		01	02	01	07	01	03
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営		主管課		財産活用課			
				主管課長		石川 博一			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市役所他45施設	意図	各施設の保守管理・点検業務を一括発注することによる事務量の大幅削減、スケールメリットによるコスト削減、民間ノウハウの活用により、自治体経営に貢献する。
事業内容	これまで各課が各施設・設備ごとに保守点検業務を発注していたが、これらの業務を一括発注することにより、事務量が大幅に削減され、かつスケールメリットによりコスト削減となる。また、民間のノウハウを活用することで、専門家による定期巡回や+αのサービスを行ってもらうなど、サービスの向上が図られる。			
事業開始から現在までの状況変化	平成25年度より包括施設管理業務を開始し、毎年対象施設・業務を追加しながら、平成27年度にて契約期間（3年）が一旦終了した。引き続き、平成28年度から契約期間を5年として事業を継続している。平成31年度からの対象業務追加要望もあり、今後も対象施設・項目を適宜見直ししていくこととなる。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	包括施設管理の対象施設数	46	47	46	施設	↑↑↑	
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成28年度より、契約期間を5年として、引き続き各課所管の施設に対して、包括施設管理業務を実施し、コスト削減に努めた。 平成30年度からは指定管理者に移行した施設があることから46施設に減少したが、平成31年度以降も適宜対象業務を見直ししていく予定である。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		72,734,760	75,600,000	80,524,180				
事業費(b)(円)		72,734,760	75,600,000	78,546,580				
うち一般財源		72,734,760	75,600,000	78,546,580				
職員給与費(c)(円)				1,977,600				
人役・職員(人)				0.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	対応・報告内容に問題がないか事業者及び市において確認する。対象施設・項目を適宜見直し、施設の適正な管理を行っていく。	③取組における課題(Check)	事業開始からこれまで施設や業務が増加してきている。多くの事務を集約化することによる事務量の削減は有効であるが、今後第3期目に向けてこのまま移行してよいか課題である。
②H30に実施した取組(Do)	昨年度に引き続き不具合箇所一覧表の提出による積み残しの確認のほか、施設の所管課と協議し、対象施設・項目の見直しを行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	第3期目の委託に移行するにあたって、委託内容や点検手法などの見直しの必要性を検討する。